

志布志市女性活躍推進事業【鹿児島県志布志市】

地域の実情と課題

○志布志市男女共同参画に関する住民意識調査(H28年度実施)
職場における女性に対する差別の有無について

「差別されていると思う」...17.9%

「そのようなことはないと思う」...64.7% 「わからない」...12.3%

「差別されていると思う」の具体的な中身

「賃金に格差がある」...57.5%

「能力を正當に評価していない」...39.2%

「昇進、昇格に差別がある」...35.0%

→それぞれのライフステージに応じ、女性が活躍できる環境づくりを進めるため、関係団体と連携した取組を進める。

事業の特徴

中小企業の多い本市において、積極的に働き方改革やワーク・ライフ・バランスに取り組み、業績を伸ばしている企業等より講師を招き、事業主や人事労務担当者等が興味を示してもらえるような女性活躍推進セミナーやワークショップを開催する。

事業の効果

セミナーやワークショップの開催後に参加者アンケートを実施
「新しい『学び』や『ヒント』がたくさんあった。非常に参考になった。」
と「新しい『学び』や『ヒント』があった。参考になった。」と回答したものの合計 **各回95%超**

目的・目標

女性が活躍し、地域経済を活性化させるため、官民一体となった女性活躍の理解と普及、そのための基盤整備を行う。

【目標】

○女性就業率 51%(H27)→60%(R4)

○職場における女性に対する差別の有無について(住民意識調査)
「差別されていると思う割合」17.9%(H28)→15.0%(R4)

○セミナー参加者満足度 目標値:80%

連携団体

- ・志布志市男女共同参画推進会議
- ・志布志市男女共同参画推進懇話会
- ・鹿児島労働局
- ・ハローワーク大隅
- ・鹿児島県や県内市町村

今後の課題

女性活躍推進や働き方改革に関心を持ち、実践する企業をさらに増やしていくために、今回モデル事業所として参加された企業を核として、事業所へ働きかけるような事業を発展させながら継続していく。また、若年層へ働きかけることは、将来の女性リーダー育成につながることから高校生や大学生を対象とした事業も行っていく。

事業の概要

第1回女性活躍推進セミナー

日時 令和3年10月28日(木) 13:30～16:00

開催方法 オンライン開催

参加 12社

内容

◆基調講演「ママドラフト会議から見てきた、女性活躍が拓く『地域の未来』」

Work Step株式会社 代表取締役、NPO法人ママワーク研究所 理事長 田中 彩 氏

◎潜在就業女性の活躍が地域産業の活性化につながること、等

◆先進事例紹介「『チームを活かす、だれもが生きる』職場づくり」

株式会社現場サポート 代表取締役 福留 進一 氏

◎社員間のコミュニケーションの増がもたらす効果について、等



第2回女性活躍推進セミナー

日時 令和4年3月17日(木) 13:30～16:00

開催方法 オンライン開催

参加 23団体(個人)、45名

内容

◆取組報告

◎モデル事業所による約半年間の取組報告

◆基調講演「女性活躍推進は誰のためのものか？」 静岡大学特任准教授 高丸 理香 氏

◎女性が働きやすい職場を目指すことは誰もが働きやすい職場につながること、等

◆先進事例紹介「女性活躍推進活動サポート事例」 株式会社九州タブチ 竹内 亮太 氏

◎社内における女性活躍推進の動きを進めるための環境づくりについて、等



◆パネルディスカッション 進行:岩切 礼 氏

◎モデル事業所と講師によるパネルディスカッション。取組の深堀を行った。



事業の概要

事業所個別ワークショップ

期間	令和3年7月～令和4年2月
開催方法	講師による事業所訪問(一部オンライン開催)
参加	市内事業所5社(モデル事業所)
内容	<p>女性活躍推進や働き方改革に取り組む「モデル事業所」を募集し、申込のあった2社及び昨年度のモデル事業所3社に対し取組支援として、個別に講師を派遣。事業所の参加者が自ら課題を掘り起こし解決するワークショップを開催した。</p>  

女性活躍推進ワークショップ(高校生座談会)

日時	①令和3年11月11日(木) 16:30～18:30 ②令和3年11月25日(木) 15:35～16:25
場所	①尚志館高校 ②志布志高校
参加	①高校生43名、企業8社 ②高校生84名、企業9社
講師	●アドバイザー:静岡大学特任准教授 高丸 理香氏 ●進行:株式会社タマリバ 岩切 礼氏
内容	<p>企業参加者と高校生複数名が一つのグループになって、女性活躍推進に関する取組の紹介等を聞き、それを基に、グループごとに自由に意見交換を行った。企業は、女性活躍推進に活かすためのヒントとして、将来の担い手となる高校生が考える「働きやすい職場」を知り、高校生は、地元とのつながりを感じながら、自らの将来について具体的に考える場となった。</p> 